

## Ballet d'action の概念 —演劇性とパントマイム—

武井隆道  
(筑波大学)

(本論文は1999年6月6日日本大学芸術学部で行われた第47回舞踊学会でのシンポジウムで発表した内容をまとめたものである。)

Ballet d'action (Ballet en action)<sup>1</sup>は、十八世紀後半 Hilverding、Angiolini、Noverre らによって提唱されたバレエ改革運動で、その定義は「演劇としての形態を持つように構成され、ストーリーを展開するように構想され…台本、音楽、振り付け、舞台装飾の完全な統合を目指した」<sup>2</sup>バレエである。このような演劇性の実現に不可欠の感情や思考の表現のために、パントマイムが大幅に取り入れられている。十六世紀の宮廷バレエの成立以来次第に整備、洗練されてきたクラシックダンスの pas の上に、パントマイムによる言語的な意味表現を結合しようとした試みであると言えよう。

意味伝達を文字や音声による verbal な手段に代えて身体表現だけで行うという欲張った試みが、Ballet d'action の実作においてほんとうに成功したのかという問いは、言語表現の本質に関わる問題として興味深い。今日上演可能な Ballet d'action の作品が皆無であることからこのことの直接の検証は難しいが<sup>3</sup>、次のような事実を裏付けにある程度の推測はでき、結論を言えばやはり完全には成功していないと言わざるをえない。第一に後で述べるように Noverre も Angiolini も印刷したプログラムを用いて創作の意図や筋の流れを説明していること、第二に舞台上に文字を表示するいわゆるメネテケルを用いていること<sup>4</sup>。また今日残っている Ballet d'action の舞台画 (図版1)<sup>5</sup>を見ると、踊り手の身振りが極端に誇張されているという印象を受ける。画家による誇張もあろうが、観衆が大きな身振り表現に Ballet d'action の特徴を見ていたことはたしかであろう。このようないわば不自然さの印象から、Ballet d'action のパントマイム表現が個々の意味内容に対応した離節的なものであり、舞台の時間進行との有機的な結びつきに不十分な点があったのではないかと予想される。

ところで Ballet d'action に直接先立つ舞台芸術のジャンルとして Opéra-Ballet がある。Rameau の *Les Indes galantes* (1735年初演) は、Opéra-Ballet 最盛期の代表的な作品として有名であるが、序幕以下『寛容なトルコ人』『ペルーのインカ人』『花、ペルシャの祭り』『野蛮人』という4つの Entrée が続く。



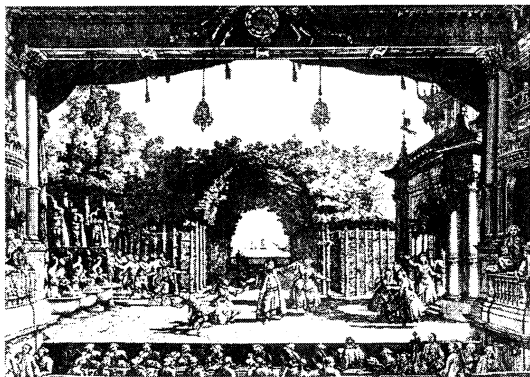
図版 1

このうち Ballet d'action との関連で特に注目されるのは『寛容なトルコ人 *Le Turc généreux*』である。というのも Hilverding による全く同じタイトルと内容のバレエが1758年 Wien で上演されているからである。彼は1735年から37年にかけてパリに留学しており、このとき Rameau の *Les Indes galantes* を見たものと思われる<sup>6</sup>。この Hilverding のバレエで興味深いのは、Opéra-Ballet という歌唱と舞踊を組み合わせた形態において歌詞という verbal な手段で実現されていた意味伝達機能が、パントマイムによってどのように代替されているかという点である。

トルコ人 Osman が、嫉妬にかられて自分の奴隷 Valère を怒りつけようとして Valère が昔の恩人であることに気づくクライマックスの瞬間は、Osman の内面に起こったことの意味を表情の変化や身振りによって観客に伝えるために、パントマイムが最大の効果をもって用いられた場面であろうと推測されるが、この直前の光景、Osman が Valère と Emilie (Valère と同郷の女奴隷) を難詰している場面の舞台画が残っており (図版2)<sup>7</sup>、それぞれの登場人物の身振りからは非難、取りなし、嘆願、屈服といった内容が明瞭に読みとれる。また踊り手たちの四肢や頭のラインが舞台の向かって右上から左下へ対角線上に配されたダイナミックな構図が印象的である。こうした個々のフォーメーションの入れ替わりによって舞台が進行するところに Hilverding の舞台の特徴を見ることができる。

他の作品も例にとりて Ballet d'action の特質を見てみよう。

Angiolini の作品に Voltaire の悲劇をバレエ化した『セミラミス *Sémiramis*』(1765年初演)がある。この作品には Angiolini 自身が著した解説が残っており<sup>8</sup>、夫を殺したバビロンの女王 Sémiramis が居眠りをする場面 (第1幕) で、夢の中に現れた夫



図版 2

の亡霊におののく彼女の恐怖の感情を、その身振りから観客が感じ取れるように意図したことが述べられている。女王の恐怖の原因を知らない他の人物たちの態度と亡霊によってひとり死へと引き込まれていく予感におびえる *Sémiramis* の態度のコントラストがパントマイムによって効果的に表わされ、ここから実の息子によって彼女が復讐される悲劇の結末まで舞台が緊張感を持って進んでいく。Angiolini 自身の言葉によれば、このバレエは「生き生きとして、興味深く、常にひとつの目標を目指して進行する一個の完結した動き (Aktion) を形成しており、…筋の運びを妨げ舞台上の活動を気の抜けたものにしてしまうエピソードは排除されている」<sup>9)</sup>のである。

Noverre の作品『アガメムノンの復讐 *Der gerächte Agamemnon*』(1771年初演) は有名なミュケネ王家の物語を Noverre 自身が台本化したもので、これも夫 Agamemnon を殺した妻 Klytämnestra が実の息子 Orest によって復讐されるというストーリーである。トロヤ戦没を終えて帰還した Agamemnon を迎える場面における、夫の留守中に不貞を働いた Klytämnestra の内心の葛藤を隠した追従的なそぶりや、最後の場面で自分を殺害しに来たのが実の息子であると気づく Klytämnestra、逆に実の母親を殺したことを知り狂気に追い込まれていく Orest の姿などに、パントマイム技法の効果的な使用があったものと推測される。

以上の例による考察から、Ballet d'action の特徴を次のようにまとめることができよう。

Ballet d'action では Opéra-Ballet に特徴的な各 Entée を空間分類で並列する舞台構成に変わって、時間進行を強く意識したストーリーの展開が構成原理となっている。そしてパントマイムはその時間進行の決定的な位置に効果的に用いられ、時間を推進する動力の役目を担っている。しかし個々の要素(パントマイムの個々の動作、舞台上のフォーメーション) がそれぞれに意味を与えられ、時間軸に沿って配され、それらの連携によって舞台内

の時間が進行するという、いわば要素構成主義的な手法をとっており、また題材の多くがギリシャ神話のよく知られたストーリーの敷衍であることから、表現者としての踊り手はパントマイムによるストーリーの解釈者であるにとどまり、自らの内発的な感情の発露としての身体表現には至っていないという限界を指摘できよう。

<sup>1</sup>Dahms によれば、Noverre は "Ballet en action" という用語を用いていたという。Sibylle Dahms : *Europäisches Musikfest Stuttgart 17.8-8.9.1991 Almanach*, Internationale Bachakademie (Stuttgart), 1991 p.168

<sup>2</sup>The Concise Oxford Dictionary of Ballet, 2nd edition, Oxford University Press 1982による。

<sup>3</sup>ただし、実験的な復原公演は1991年、Stuttgart の Europäisches Musikfest で行われている。Dahms 註<sup>1</sup>参照。

<sup>4</sup>典型的には Angiolini の *Sémiramis* の第1幕で、殺害された夫の亡霊が、壁に *Sémiramis* への復讐を息子に呼びかける文字を書く場面。また同じ作品の第3幕でも墓石に同様の文が現れることになっている。

<sup>5</sup>Noverre の *Medée et Jason* の1781年ロンドン Kings Theatre での公演を描いた Nathaniel Dance の原画による Francesco Bartolozzi の舞台画。Victoria and Albert Museum, *Ballet Designs and Illustrations 1581-1940*, a Catalogue raisonné by Brian Read, No.67, Her Majesty's Stationery (London) 1967.

このほかにたとえば Paul Sandby の Gaetan と Auguste Vestris の兄弟を描いたと思われるエッチング (ibid.No.68) など。

<sup>6</sup>Sibylle Dahms : article "Hilverding" in *Pipers Enzyklopädie des Musiktheaters*.

<sup>7</sup>Bernardo Bellotto (= Canaletto) による 1759 年 Wien Burgtheater の舞台画。Graphische Sammlung Albertina (Wien) 所蔵。

<sup>8</sup>Gasparo Angiolini : *Abhandlung über die pantomimischen Tänze der Alten*. (原題 : *Dissertation sur les Ballets Pantomimes des Anciens*.) In : Michael Christian Bock (ed.), *Hamburger Unterhaltungen*, 1766, pp.351-374

<sup>9</sup>ibid.p.365